

- 基幹的農業従事者のうち、**女性農業者は42%**(全国)を占めており、**農業や地域活動の担い手として重要。**
- 農村地域に生活する女性の多くは、結婚・育児を契機に農業に補助的な関わりを持つものの、農業の基礎知識を習得する機会が少ない。
- 女性農業者は、**次世代の農業・農村活性化を担う人材として期待**されているが、**農業経営意欲の涵養や職業人としての能力向上が課題。**
- 次世代の女性農業者の育成に向けた**効果的な育成手法の確立や支援体制の整備を図る。**
- 今後の地域農業、農村社会の一翼を担う**女性農業者が将来にわたり確保・輩出される。**

## 普及活動の成果

### 1 各地域における女性農業者の活動支援体制の整備

#### ■女性農業者の育成方向等の検討(H27)

育成目的：**農業経営者の育成**

育成手法：研修会によるスキルアップやネットワーク形成を核とした育成

「育成の考え方」を、担当課より各普及センターへ提示  
→全県的に育成の対象者として位置づけて支援

#### ■効果的な育成手法や支援体制の検証と成果の共有

(H27～H29)

研修会等の試行を通じて効果的な育成手法及び支援体制を検証する普及センター数

6普及センター(H26) → 9普及センター(H28)

【女性農業者】

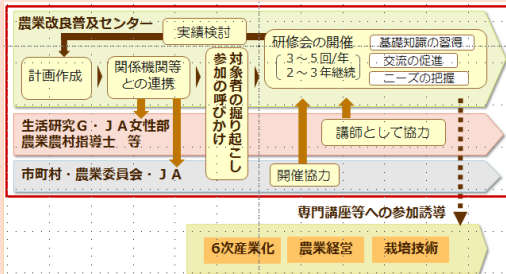
- ・農業機械粗操作など**基礎知識の習得**
- ・先輩女性農業者の活動事例から**地域を知る**
- ・地域の**仲間との出会い**、一部では**組織化**

【普及センター】

- ・効果的な育成手法の**ノウハウを共有**
- ・対象者の掘り起しや講座等への参加誘導に際し、**関係機関との連携が強化**されつつある。

#### ■各地域における関係機関・団体との連携等による支援体制の整備(H29～H30)

各地域での対象者数、支援機関、関係団体に応じた体制であり、各機関が相互補完しながら掘り起し・支援・フォローアップを継続していく体制



## 普及活動の特徴

■検討チーム会議等の開催により、地域普及センターの女性農業者育成支援における意識統一を図るとともに、効果的な育成手法などノウハウを共有

■全県規模の交流会の開催により、地域を超えた同じ視点で話せる仲間との出会いにつながる

## 目標を達成するための普及活動

### 1 各地域における女性農業者への活動支援体制の整備

#### ■検討チーム会議等を開催し、女性農業者の育成方向や効果的な育成手法等を検討

・女性農業者の育成方向等を検討(H27)

・効果的な育成手法の検証と成果の共有(H27～29)

〈対象者の掘り起し〉

関係機関・団体との情報共有、対象者あての案内

〈研修会のテーマとカリキュラム〉

仲間作り、農業技術や営農生活設計等に関するもの  
目指したい女性農業者の姿に関するもの、など

〈開催にあたっての留意点〉

家族への働きかけ、参加しやすい時間帯を設定、

託児サービスの活用、和やかな雰囲気づくり、など

・広域研修交流会の開催(H27～29)



「いわたの農業に関わる女子の大交流会」

平成27年10月 紫波町で開催 参加者45名



「平成28年度いわた農業女子研修大交流会」

平成28年9月 花巻市で開催 参加者 25名

#### ■各地域における関係機関・団体との連携等による支援体制の整備(H29～30)

・全県的な啓発・誘導、地域的な体制づくりを進める

## 関係機関との連携

■各普及センターは、関係機関・団体と連携し、掘り起しから学びの場・集まりの場の提供を通じ対象者を育成

■県域Gは、県庁関係課、関係団体と連携し、全県的な啓発・誘導を推進するとともに、検討会開催や実績の取りまとめを実施